2026年
11
Vol.6
SAIKI TOURISM
観ま佐NEWS

●「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026」延岡市と連携し、福岡県内の新聞社５社を訪問しました！

10月1日(木)・2日(金)、東九州伊勢えび海道実行委員会(佐伯市・延岡市)とともに、福岡県内の新聞社5社を訪問し、メディアキャラバンを実施しました。参加店舗の取り組みや伊勢えびの魅力、海洋資源を守る活動などを紹介し、キャンペーン後半に向けた情報発信を行いました。

「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026」は11月30日(月)まで開催中です。今後も各種企画と連携しながら、積極的な情報発信を通じて、キャンペーン終了までさらなる誘客につなげていきます。





●宇目の新しいお土産づくりが始まりました！

宇目地区と協力して新しいお土産づくりが始まりました。

10月2日(金)、まずは原材料の栗がどんな場所で生産され、どのような作業が行われているのかを知るため、「さいき農林公社」の栗農園へ収穫のお手伝いに行ってきました。今年は収穫量が少なく時期も遅れているとのことでしたが、丸々と実った立派な栗を収穫できました！ただ、2時間ずっとかがんだままの姿勢だったため、腰が悲鳴を上げていました…。職員の皆様がこの時期に毎日この作業をされていると思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。

10月7日(水)、収穫した栗を「ひよこの会」へ持ち込み、栗剥きの作業もお手伝いしてきました。お母さんたちと無心で栗をスプーンでくり抜き、たまにつまみ食いも挟みながら、ようやく15kg分を確保することができました。

目標量にはまだまだ遠いので、引き続き頑張ります。宇目の新しいお土産は年内に発表予定ですので、どうぞお楽しみに！







●「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026」本匠中学校で伊勢えびさばき体験と海の学びを実施しました！

10月5日(月)、佐伯市立本匠中学校にて、「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り」の一環として、伊勢えびさばき体験と海の学びを実施しました。

生徒たちは、伊勢えびのさばき方を学び、実際に握りを味わうことで、地域の豊かな食の魅力を体感しました。また、藻場再生の取り組みについても学び、海の恵みを未来へつなぐことの大切さについて理解を深めました。

今回の体験を通じて、次世代を担う子どもたちに、佐伯の食文化や豊かな海の価値を伝えるとともに、地域の水産資源を守り、次世代へ継承していく意識を育む機会となりました。

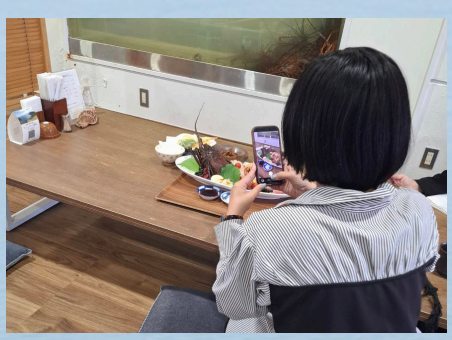




●「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026」インフルエンサーと連携し、佐伯の魅力を発信しました！

10月9日(金)・13日(火)、インフルエンサーによる佐伯市内撮影のアテンドを実施しました。「佐伯ドラパス旅っチャ」の利用方法や、「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り」の参加店舗等を撮影するにあたり、当法人は事前の日程調整から店舗とインフルエンサー間の連絡・調整まで、円滑な撮影に向けたサポートを行いました。

インフルエンサーならではの視点と発信力を活用し、福岡県を中心とした県外の旅行客に向けて佐伯市の魅力を届けることで、認知度向上とさらなる誘客につなげていきます。











ツール・ド・佐伯へ出店しました！

10月11日(日)、佐伯市総合運動公園をスタート・ゴールするツール・ド・佐伯が開催され、当法人も出店し、ごまだしをはじめとする各種佐伯産品や寿司キーホルダーや浦100Tシャツ等を取り揃え、販売を行いました。当日は参加者に配布された1,000円分の補助券のおかげもあり、多くの商品を販売することができました。今回の出店を通じて、佐伯産品の魅力を広くＰＲするとともに、販売促進と地域産品の認知度向上につながる有意義な機会となりました。





おんせん県おおいたツーリズム商談会に参加しました！

10月13日(火)、大分県庁で「令和8年度おんせん県おおいたツーリズム商談会」が開かれ、当法人も参加しました。12回目の今回は、県内の市町村や観光協会が、全国の旅行会社と20分ずつの商談を行いました。

当法人は、食を通じたキャンペーンや風光明媚な立ち寄りスポットを中心に提案しました。旅行される方の中には、定番のコースには飽きが見えていることから、新しい行程を探している旅行会社もあれば、着地コンテンツや高付加価値商品に力を入れる会社もあり、最新の動向が伺えましたので、需要に沿った地域の魅力を発掘・発信していきます。





おんせん県おおいたツーリズム商談会のエクスカーションで佐伯の「海・食・自然」をご案内しました！

10月14日(水)、商談会の翌日にエクスカーションが行われ、旅行会社の皆様に佐伯市・津久見市をご案内しました。

佐伯市では、かまえインターパーク海べの市と道の駅かまえで蒲江の水産物や特産品をご案内し、空の公園ではリアス海岸と太平洋の景色を楽しんでいただきました。割烹たかはらでの食事は見た目も味も大満足していただき、そのクオリティの高さに驚いていました。その後は津久見市へバトンタッチしました。

道中、旅行会社の皆様から伺うお話は、旅行会社目線で商品を考える視点を知る貴重な機会にもなりました。今回の学びを、来年度の旅行商品に佐伯を組み込んでいただくよう働きかけていきます。





OBS大分放送「かぼすタイム」で佐伯の魅力を発信しました！

10月17日(土)、OBS大分放送の情報番組「かぼすタイム」のコーナー「ドコいこ！？」に出演し、佐伯市の観光や食の魅力をPRしました。

テレビを通じて広く情報を発信することで、佐伯市の認知度向上と来訪のきっかけづくりにつなげる取り組みとなりました。今後もさまざまなメディアを活用し、佐伯市の魅力を積極的に発信していきます。









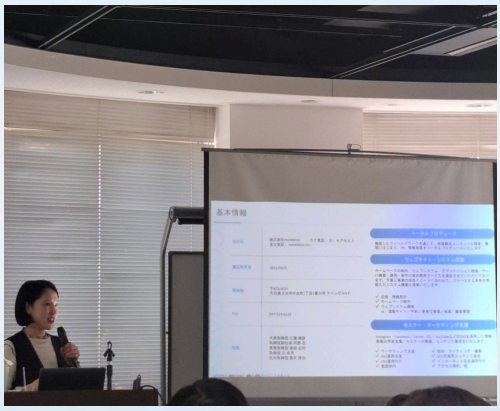
●Instagram×生成AI活用セミナー

10月15日(木)、佐伯市内の事業者を対象とした「Instagram×生成AI活用セミナー 基礎編」が佐伯市保健福祉総合センター和楽の会議室で開催されました。参加者はInstagram運用の基本や投稿に必要な準備等を学び、自店舗の強み整理や発信テーマの設定に取り組みました。

講座では、アルゴリズムの特徴など、効果的な運用に欠かせない基礎知識を学び、続いて店舗や団体の魅力を言語化するワークが行われ、参加者は「誰に何を届けるか」を明確にしながら発信内容の方向性を整理しました。

また、生成AI「ChatGPT」を活用した文章作成の実演も行われ、投稿文の下書き作成やハッシュタグ案の生成など、広報業務の効率化につながる活用方法が紹介されました。

今回のセミナーを通じ、参加者はSNS発信の基礎とAI活用の両面を学び、今後の情報発信の質向上が期待されます。





●佐伯市城下町観光交流館にて週末に芸術作品の展示を行っています！（10月～翌3月、イベント時期を除く）

佐伯市で活動されている文化・芸術団体・個人のみなさまのアート作品展示や一部体験・販売を週替わりで行っています（10月～翌3月の土日、イベント時期を除く）。市内で活動されている皆様の発表の場を創出するとともに、佐伯市城下町観光交流館を含む山際通りの活性化を目的としています。

市内外から訪れる観光客の皆様に、佐伯市で生まれたさまざまな文化・芸術作品に触れていただくことで、地域の魅力を知っていただく機会を創出し、交流につなげていきたいと考えています。

佐伯市の文化・芸術を楽しみに、ぜひお越しください。詳細は当協会公式サイト佐伯市観光ナビにて随時更新中です。







●佐伯市の観光PR動画の撮影に同行しました！

10月21日(水)・22日(木)の2日間、女子旅をテーマにした佐伯市の観光PR動画の撮影が行われました。旅行会社の営業や観光客向けのPRに活用するための動画で、当法人は撮影スポットの候補選定、決定したスポットへのアポ取り、当日のスケジュール調整を担当し、撮影にも同行しました。

撮影では、出演者2名が寿司バイキングやカフェ、城下町での袴着付け体験、城山、蒲江のパール体験、進水式など、佐伯の食・体験・景色を楽しそうに巡る様子を収めました。ご協力いただいた店舗・施設の皆様、ありがとうございました。

完成した動画は、商談会などのPRの場で活用していきます。





●第７回博多駅さいきフェアに出店しました！

10月23日（金）ＪＲ博多駅中央コンコースにおいて「第７回博多駅さいきフェア」を開催し、佐伯市の魅力ある特産品のＰＲ及び販売を実施しました。

今回は、かぼすサーモン寿司、佐伯寿司、りゅうきゅう丼をはじめ、すり身揚げ、ちりめん、ごまだしなど、佐伯ならではの海産物や加工品を中心に幅広い商品を取り揃え、博多駅を利用する多くのお客様に向けて販売・ＰＲを行いました。

今回のフェアには、㈱トーワ、ぶんご銘醸㈱、漁村女性グループめばるの３事業者に加え、あまべ商工会の職員にもご参加いただき、事業者と関係機関が一体となって佐伯産品の魅力を発信しました。







●「さんふらわあがつなぐ地域の魅力 第三弾～大分県南編～」KITTE大阪で大分県南PRイベントを開催しました！

10月24日(土)・25日(日)、JR大阪駅に直結したショッピングセンター「KITTE大阪」で、株式会社商船三井さんふらわあが実施する「さんふらわあがつなぐ地域の魅力 第三弾～大分県南編～」のPRイベントが行われ、当法人は臼杵市の企業とともに特産品を販売しました。会場では、県南3市の特産品などが当たるガラポン抽選会が開催されました。

特に好評だったのが「ごまだし」です。ご存じない方が多かったため、作り方や食べ方をご説明して試食していただくと、「おいしい」という声をたくさんいただきました。「佐伯にも行ってみたい」とおっしゃってくださる方もいました。

県南エリアは、以前から二次交通が課題とされてきました。さんふらわあなどのカーフェリーは、マイカーやバイクで乗船できるため、この課題の解消と相性のよい手段です。当法人では、このつながりを大切にしながら、今後も県南地域への誘客に取り組んでまいります。





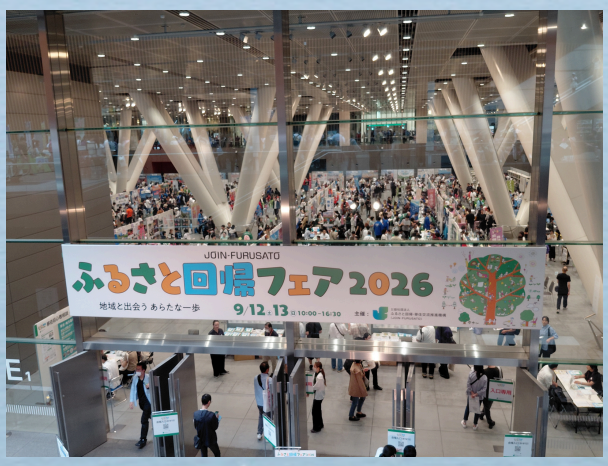


●東京・大阪・福岡の移住相談会に参加しました

9月から10月にかけ、東京・大阪・福岡で開催された移住相談会に計5回参加しました。すでに佐伯市へ移住された為重あやめさん、大西衿沙さん、今枝紘樹さんがゲストスピーカーとして登壇し、それぞれの移住経験や現在の暮らしについてお話しいただきました。

各相談会では、本市の特色や移住後の暮らしを紹介するプレゼンテーションの機会をいただき、豊かな自然や食など、佐伯市の魅力をＰＲしました。また、合計56組76人の方と個別相談を行い、まず一度佐伯市を訪れていただけるよう、「お試し滞在補助金制度」を紹介しています。

相談者の多くは、まだ情報収集の段階であり、佐伯市を初めて知ったという方もいらっしゃいます。今後も佐伯市を移住先の候補として検討していただけるよう、継続して情報発信や相談対応に取り組んでまいります。





●10月は計3回の食育ワークショップを開催しました！

10月1日(木)、延岡市と佐伯市の人事交流再開を記念し、延岡市駅前複合施設「エンクロス」で、佐伯市の食育の取り組みや郷土料理を紹介しました。

講師は、延岡市に詳しく、郷土料理の伝承にも取り組まれているフランス料理店「ムッシュ・カワノ」の河野辰也氏。あつめしとごまだしをライブキッチン形式で調理し、参加者の皆さんに試食していただきました。

終了後には、ごまだしの購入や、佐伯市でのワークショップへの申し込みがあったほか、河野氏のお店への予約もあり、市外でのPR活動が大きな成果につながりました。今後も、他市町村や他県での食育活動に積極的に取り組みます。





10月15日(木)、 ごまだしを日々の食卓で活用していただくため、「ごまだしアレンジ」をテーマに開催しました。講師は、漁村女性グループめばるの創業者・桑原政子氏のご息女で、大分市で人気の料理教室を主宰する園田寿氏です。

ごまだしが万能調味料であることを紹介し、ごまだしパイや、生クリームとにんにくで煮たバーニャカウダソース、サラダのドレッシング、バゲット、クッキーなど、これまでにないアレンジ料理に挑戦しました。初めて味わうおいしさに、参加者の皆さんも大変喜ばれていました。

郷土料理であるごまだしが、新たな使い方とともに各家庭に広がっていくことを願い、これからもその魅力を作り、伝えていきたいと思います。





10月19日(月)、 宇目小野市の古民家で、自然栽培米を使った米麹の製造・販売やカフェを営む「GreenMade」の佐藤碧氏を講師にお迎えしました。

黒麹甘酒を試飲し、その後、黒麹を使った塩麹と醤油麹を各自で仕込みました。毎日かき混ぜながら、1週間から10日後の完成を待ちます。

続いて、様々な麹を使ったプレートランチを参加者同士で協力して仕上げ、麹の持つ効果や風味、味わいを楽しみながら、豪華な昼食をいただきました。





食育ワークショップは、さいき城山桜ホールの開館と同時にスタートし、10月31日で丸6年を迎えました。佐伯市が目指す「食のまちづくり」に少しでも貢献できるよう、これからも取り組んでまいります。7年目も感謝の気持ちを忘れず、活動を続けてまいります。

●まちづくり交流倶楽部の顔合わせ交流会を開催しました！

佐伯市内では、多くの市民活動団体が地域の課題解決や活性化に向けた活動を行っています。これらの団体の交流や連携を促進し、市民協働によるまちづくりを進めるため、「まちづくり交流倶楽部」を設けています。

同倶楽部には、市内でNPO活動やボランティア活動、社会貢献活動などに取り組む16団体・個人が登録しており、9月25日に今年度最初となる加入団体の顔合わせ交流会を開催しました。今回は4団体が参加し、まちづくり交流倶楽部の在り方や今後の活動について活発な意見交換を行いました。

交流会を通じて、佐伯市内で活動する団体同士が互いの取組を知り、より多くの市民の皆さまに知っていただくことの大切さを改めて感じる機会となりました。今年度は、こうした交流を重ねながら、さいき城山桜ホールに限らず、各地域のコミュニティセンターなども活動の拠点として捉え、これからの佐伯市における市民協働の在り方を検討したいと考えているところです。地域や団体の枠を越えた市民活動の広がりにつながるよう取り組んでまいります。

※まちづくり交流倶楽部　https://machi-center.net/exchange-club/





●今後の予定スケジュール（～12月15日まで）

●行 事 名 ：東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026
日　　時：9月2日(水)～11月30日(月)
と こ ろ ：大分県佐伯市、宮崎県延岡市の食事処・宿泊施設計28店舗
詳　　細：「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り」公式HPをご覧ください。

●行 事 名 ：佐伯市で生み出された芸術作品の展示・販売・（体験）会
日　　時：10月～翌年3月の土日
会　　場：佐伯市城下町観光交流館
行事内容：佐伯市で活動されている文化・芸術団体、個人のみなさまの作品を週替わりで展示しています。
詳細は「佐伯市観光ナビ」をご覧ください。

●行 事 名 ：スマイルフェスティバル
日　　時：11月29日(日)　14:00～18:30
会　　場：九州電力大分支店
参加内容：観光PR・佐伯産品物販にて出店します。



【発刊】
一般財団法人
観光まちづくり佐伯
TEL：
0972-23-1101
住所：大分県佐伯市中村南町9-5
ＨＰ：https://machi-center.net/